

研究業績一覧（2023年）

飯塚 信夫（イイツカ ノブオ）

1 論文

「コロナ禍における第3次産業活動指数の変動と基準改定の影響」（単著）、東京財団政策研究所 REVIEW R-2023-005、2023年4月

「基準改定で「なめらか」になった鉱工業指数」（単著）、東京財団政策研究所 REVIEW R-2023-029、2023年7月

「GDP成長率の改定の大きさと経済政策の検証の在り方」（単著）、東京財団政策研究所 REVIEW R-2023-081、2023年12月

2 学会報告

「コンセンサス予測は“良い予測”なのか～四半期GDP成長率予測とインフレ率予測による検証～」2023年度 統計関連学会連合大会（京都大学）、2023年9月

「コロナ禍における第3次産業活動指数の変動と基準改定の影響」経済統計学会第67回全国研究大会、2023年9月

3 その他

国際経済交流財団『Japan Spotlight』における以下の連載

「Economic Indicators for Japan」

- Is Japan's Accommodation Service Industry Finally Overcoming the Coronavirus Pandemic? (2023年1/2月号)
- Current Status of Japan's Fiscal Balance (2023年3/4月号)
- Japan's Current Account Surplus Significantly Reduced (2023年5/6月号)
- The Recovery in Numbers of Foreign Visitors to Japan (2023年7/8月号)
- Japan's Tax Revenue Records Historical High for 3rd Consecutive Year (2023年9/10月号)
- Are Japan's Wages on a Stable Upward Trend? (2023年11/12月号)

出雲 雅志 (イズモ マサシ)

1 共著

Masatomi Fujimoto, John Vint, Taro Hisamatsu (eds.). *James Mill, John Stuart Mill, and the History of Economic Thought*, Routledge, 2023

2 招待講演

「スミスを継いだマルサスとリカードウから受け継ぐもの」東京経済大学（国分寺キャンパス）
「アダム・スミス生誕300年記念講演会」2023年9月30日

井上 修 (イノウエ シュウ)

1 学術論文

井上 修・石上悦朗（2023）「インド国営鉄鋼企業 ラシュトリヤ・イスパット・ニガム社の経営問題—プロジェクト建設遅延と財務分析を中心に—」『経済経営研究（年報）』（神戸大学）72、95-141

2 学会発表

「インド鉄鋼企業の再編とアルセロール・ミッタル / 日本製鉄連合の進出について—企業経営分析をふまえて—」, アジア経営学会第30回全国大会、2023年9月15日、16日、17日（慶應義塾大学）

3 研究助成

「インド鉄鋼企業経営の研究—データベースの構築と多面的分析—」、2023年-2026年、研究課題23K01509、基盤研究（C）

岩木 宏道 (イワキ ヒロミチ)

1 学術論文

“Empirical Analysis of Hold-up Problem in Debt Financing: Evidence from Japanese Listed Firms”, 『経済貿易研究（研究所年報）』（49）、79-100頁、2023年

2 著書

“Elgar Encyclopedia of Financial Crises”, Sara Hsu (eds.), Edward Elgar Publishing, 2023.

-‘Chapter 77: The 1977-1998 Financial Crisis in Japan’, Hiromichi Iwaki.

-‘Chapter 93: The Financial Crisis in Japan in the 1920s’, Hiromichi Iwaki.

3 学会等活動

“National Culture and Clean Global Supply Chain” に対するコメント（於 Darla Moore School of Business - Hitotsubashi University The Sixth International Conference on Corporate Finance: Corporate Purpose and Sustainability (in Tokyo), 2023)

4 研究助成

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（若手研究及び独立基盤形成支援）：「銀行業を取り巻く変化が企業にとっていかなる意味を有するか」（研究代表者 23K12505）

浦沢 聡士（ウラサワ サトシ）

1 論文等

「オルタナティブデータと経済ナウキャスト—GDP 統計との比較で見る人流データ、クレカ利用情報の特徴—」 神奈川大学経済貿易研究所『経済貿易研究』49号、2023年3月

“The Usefulness of High-Frequency Alternative Data to Obtain Nowcasts for Japan’s GDP: Evidence from Credit Card Data”, *Journal of Business Cycle Research* 19(2)、2023年9月

「クレジットカード利用情報を用いたサービス消費の補外予測—四半期別 GDP 速報（QE）の精度向上と公表早期化への挑戦—」 内閣府経済社会総合研究所『国民経済計算関連論文』No.11、2023年10月

「GDP ナウキャストと景気判断—景気判断実務における GDP ナウキャストの活用に向けて—」 内閣府経済社会総合研究所『経済分析』第208号（企画編集号）、2023年10月

枝村 一磨（エダムラ カズマ）

1 論文

乾友彦・枝村一磨（2023）「産学連携と企業パフォーマンス」RIETI Discussion Paper Series

枝村一磨（2023）「産学連携と企業のパフォーマンス」『統計』2023年8月号 pp. 14-21

2 研究発表

「産学連携と企業パフォーマンス」研究・イノベーション学会第38回年次学術大会、2023年10月28日

大島 朋剛（オオシマ トモタカ）

1 学会報告

「戦前期灘酒造業にみる酒米調達—昭和戦前期の灘酒甘口化を見据えて—」第761回 経済史研

究会（東京大学）、2023年11月6日

2 出版物

「兵庫県の産業経済—高度経済成長から安定成長へ」兵庫県史編纂委員会編『兵庫県政150周年記念 兵庫県史～この五十年の歩み 第1巻』兵庫県、2023年3月31日

「転機を迎えた重厚長大型中心の産業構造」兵庫県史編纂委員会編『兵庫県政150周年記念 兵庫県史～この五十年の歩み 第2巻』兵庫県、2023年3月31日

「戦前期日本酒造業にみる醸造教育とその意義」井奥成彦・中西聡編著『醸造業の展開と地方の工業化 近世・近代日本の地域経済』慶應義塾大学出版会、2023年9月15日

3 研究助成

「近現代日本における酒類消費に関する研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～23年度）、課題番号：17K03852

小山 和伸（オヤマ カズノブ）

1 論文

「脱工業化社会における原子力発電一日仏比較研究—」『経済貿易研究』神奈川大学経済貿易研究所、2023年3月25日

“Japanese management, leadership, and culture in the case of Fukushima nuclear accident” in *Japanese and Polish Managers* edited by Slawomir Banaszak and Kazunobu Oyama V&R uni-press 2023

金澤 雄一郎（カナザワ ユウイチロウ）

1 学術論文

1. Tomoki Matsumoto, Tomohito Kamai, and Yuichiro Kanazawa “Examination of Bargaining Power in the Distribution Channel under Possible Price Pass-through Behaviors of Retailers”, *Journal of Retailing and Consumer Services*, ScienceDirect.com by Elsevier. Accepted on October 9, 2023 【査読有】

2. 神藤彩子・金澤雄一郎「女性受刑者の被害体験と抑うつとの関連—自尊感情に着目して—」『犯罪心理学研究』に2023年5月23日に受理。61(2)、1-15に掲載予定【査読有】

3. Yuichiro Kanazawa “On Cardinalization of Consumer Utility in Discrete Choice Models”, *RIMS Kokyuroku* 2254, Research Institute for Mathematical Sciences, Kyoto University pp. 95-107, 2023/06

4. 荻原彩佳・遊間義一・金澤雄一郎・河原哲雄・東條真希・石田祥子「大学生におけるアイオワギャンブル課題の得点の推移の異質性」(“Development of the Japanese version of the

Iowa Gambling Task for PC and its equivalence to the English version”)『心理学研究』93 (6)、506-515頁、2023/02【査読有】

2 学会発表

Tomoki Matsumoto, Tomohito Kamai, and Yuichiro Kanazawa “Reexamination of bargaining power in the distribution channel under possible price pass-through behaviors of retailers”、京都大学数理解析研究所 RIMS 共同研究（グループ型 A）による研究会“種々の統計的モデルにおける推測方式の有効性”（2023年3月6日（月）—3月8日（水））

3 研究助成

1. 「再犯状況からみた性犯罪受刑者における犯罪行動の特殊・固定化と多様化」日本学術振興会：2022-2026年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）（臨床心理学）（研究分担者）
2. 「Optimism, the current sense of well-being, and trust/trustworthiness post-pandemic: an international study」The Center for Social Data Structuring, The Joint Support-Center for Data Science Research 041RP202 研究代表者 2023/04-2024/03
3. 「Contextual understanding of trustworthiness in organizations: an international study」The Center for Social Data Structuring, The Joint Support-Center for Data Science Research 047RP202 研究代表者 2022/04-2023/03

4 その他

Member, The Trustworthiness Research Alliance (<https://www.trustworthiness.ca/researchers.htm>)

権 純鎬（クオン スンホ）

1 論文

権純鎬・河股久司・須田孝徳（2023）「電子媒体の画面接触が決済サービスのコントロール感と心理的所有感に及ぼす影響」マーケティングジャーナル、42(3)、pp. 51-62【査読有】

2 著書

川又啓子編著（2023）『eスポーツ社会論』同友館（第5章担当）

3 学会報告

川又啓子・権純鎬（2023）「新しいメディアとしての『eスポーツ』の可能性に関する議論」日本広告学会第54回全国大会

Ishii, Hiroaki, Taku Togawa, Ikumi Hiraki, Soonho Kwon, Naoto Onzo (2023) “Effects of Surprise Emotion Elicited by Offline Versus Online Coupons”, Association for Consumer Research Conference 2023

権純鎬・河股久司（2023）「心理的所有感の転移に関する探索的研究」日本消費者行動研究学会第67回消費者行動研究コンファレンス

須田孝徳・権純鎬・野村拓也（2023）「製品・ブランドの擬人化を促進する新たな要因の検討：消費者が使用するデバイスの効果に着目して」日本消費者行動研究学会 第67回消費者行動研究コンファレンス

河股久司・権純鎬（2023）「消費者と製品陳列の空間的距離が製品評価に与える影響」日本商業学会第73回全国研究大会

4 その他

川又啓子・権純鎬・菊地映輝（2023）「e スポーツはこれからの社会をどのように変えるか」国際大学 GLOCOM 公開コロキウム

野村拓也・権純鎬・須田孝徳（2023）「消費者物質主義の低下に関する探索的研究」公益財団法人吉田秀雄記念事業財団令和4年度助成研究報告書、pp. 169-179

工藤 喜美枝（クドウ キミエ）

1 研究ノート

「PowerPointVBAに関する考察」『商経論叢』第58巻第2号、2023年2月、pp. 35-50

呉 春美（ゴ ハルミ）

1 著書

「辰野家金吾の建築と美術における内発的開発論」中林広一編『アジア圏における文化の生成・受容・変容』お茶の水書房、2023年3月（共著）139-175頁

2 学会発表

「広告からみた多文化理解」ATEM学会 於：名古屋大学、2023年9月17日

「How to Promote Citizenship through English Education」STEM学会 於：韓国国民大学、2023年10月28日

3 講演

Sustainability in terms of Japanese Tradition 於：英国ランカスター大学マネジメントスクール、2023年7月31日

「今なぜ森づくりなのか—私たちのQOL・環境・防災の観点から—」生涯学習エクステンション講座 於：神奈川大学みなとみらいキャンパス（共同講演）2023年11月10日・17日

4 その他

「Circular Economy: Sustainability・Digital Thinking・Revitalization」共同講演主催 於：神奈川県横浜キャンパス、2023年9月8日

五嶋 陽子（ゴトウ ヨウコ）

1 論文

「フリーライダーの実態」『商経論叢』第58-2号、2023年2月、1-34頁

坂田 大輔（サカタ ダイスケ）

1 学会報告

「公文書に基づく日本統計再建期の研究」経済統計学会第67回全国研究大会（静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ）2023年9月8日

坂田大輔、池島祥文「GISを用いたインド農村土地台帳の信頼性評価の可能性」日本南アジア学会第36回全国大会（神戸大学・六甲台第1キャンパス本館）2023年9月24日

坂田大輔、宇佐美好文「Palakurichi村におけるLAFTI運動の影響」日本南アジア学会第36回全国大会（神戸大学・六甲台第1キャンパス本館）2023年9月24日

佐藤 睦朗（サトウ ムツオ）

1 研究会発表

① バルト＝スカンディナヴィア研究会3月例会（2023年4月8日）オンライン開催
「フェーダ教区における土地整理（エンクロージャー）ーデジタル史料を利用した一考察ー」

② 農村史研究会（2023年7月22日）オンライン開催
「18～19世紀東中部スウェーデンにおける土地整理（エンクロージャー）ーフェーダ教区での事例研究ー」

品川 俊介（シナガワ シュンスケ）

1 論文

“Impact of Delays in Policy Implementation on Economic Stability under Sticky Prices,” IERCU Discussion Paper, No. 391.（共著）

玉井 義浩 (タマイ ヨシヒロ)

1 論文

「高齢化・人口減少と物価・地価」渡辺努・清水千弘編『日本の物価・資産価格—価格ダイナミクスの解明—』第11章 (pp. 321-342) 東京大学出版会、2023年6月

寺嶋 正尚 (テラシマ マサナオ)

1 書籍

山蔦圭輔編著・寺嶋正尚・本田周二・植田健太・三浦佳代・木村詠美・関根麗子著『メディカルスタッフ必携 マナー・コミュニケーションスキル帳』Gakken、2023年2月 (担当箇所：第1章第2～5節、第9節)

2 論文

齊藤ゆか・寺嶋正尚・中島さえ「ソーシャル活動につながるインセンティブの検討」『心理・教育論集』54、pp. 5-17、神奈川大学教職課程研究室、2023年12月

寺嶋正尚・菊池一夫・山木敬史「吉祥寺におけるポップアップ・ストアの出店理由に関する研究」『消費経済研究』44、pp. 124-135、日本消費経済学会、2023年6月 (査読あり)

田口裕基・白土由佳・寺嶋正尚「ソーシャルメディアにみるバクチャー消費に関する時系列的考察」『消費経済研究』44、pp. 87-99、日本消費経済学会、2023年6月 (査読あり)

寺嶋正尚「改正卸売市場法施行後の花卉仲卸業の経営戦略に関する一考察」『商経論叢』58 (3・4)、pp. 13-33、神奈川大学経済学会、2023年4月

寺嶋正尚「伝統工芸品のマーケティング戦略に関する一考察～京都・清閑寺窯の事例～」『経済貿易研究』49、pp. 101-118、神奈川大学経済貿易研究所、2023年3月

3 学会報告・研究会報告

寺嶋正尚・都留信行「住民視点で見た駅前再開発事業の一考察～東京・自由が丘のケース」地域交通フォーラム2023、地域デザイン学会、2023年12月23日

寺嶋正尚・齊藤ゆか「定年退職者の地域支援活動に関する研究」2023年度全国学会、余暇ツーリズム学会、2023年10月29日

寺嶋正尚・都留信行「東京・自由が丘における近年の再開発事業に関する一考察」第1回九州部会、日本消費経済学会、2023年9月1日

白土由佳・寺嶋正尚・山木敬史・菊池一夫「ポップアップ・ストアのD2C戦略に関する研究」第2回九州部会、日本消費経済学会、2023年3月23日

田口裕基・白土由佳・寺嶋正尚「JICFS データに基づく香辛料のライフサイクルに関する分析」第2回九州部会、日本消費経済学会、2023年3月23日

遠原 智文（トウハラ トモフミ）

1 学会発表

「企業内診断士の活用方法と課題」九州経済学会第73回大会（九州大学）、2023年12月2日

2 その他

・コメンテーター

塗茂克也（千葉経済大学）「メキシコ日系中小企業において人材マネジメントが現地従業員に及ぼす影響—製造業3社の質問紙調査から現地従業員の認識を知る—」日本経営学会関東部会（法政大学）、2023年7月29日

・ワークショップ

佐々木純一郎（弘前大学）・平澤賢一（会津大学短期大学部）・長谷川英伸（玉川大学）・下畑浩二（相愛大学）・遠原智文（神奈川大学）「東北部会発—持続可能な地域社会における地域中小企業と経営学の役割」日本経営学会第97回大会（神戸学院大学）、2023年9月5日

道満 治彦（ドウマン ハルヒコ）

1 著書

「グリーンディールの前提としての再エネ政策—優先規定の変遷から見る日本への示唆」（蓮見雄・高屋定美編『欧州グリーンディールとEU経済の復興』文眞堂、261-290ページ）

2 学会報告

「SDGs時代の代替エネルギーの変遷—再生可能エネルギーの主流化と企業経営への影響」日本経営学会第97回大会、2023年9月7日、神戸学院大学

「世界経済における代替エネルギーの動向—脱炭素経済におけるエネルギー利用側の動向に着目して」日本国際経済学会第82回全国大会、2023年10月15日、明治大学

3 競争的資金等の研究課題

「欧州グリーンディール具体化のための新産業戦略と日EUグリーンアライアンス」、公益財団法人市村清新技術財団 地球環境研究助成、2022年2月～2025年1月、研究分担者（研究代表者：蓮見雄（立教大学経済学部教授））

4 その他

【役職】

日本比較経営学会 幹事

【その他】

公開講演会「カーボンニュートラルの社会実装を目指す欧州グリーンディール—その現状と

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 論文

「IFRS 適用中国農企業における会計の特徴について—China Modern Dairy Holdings Limited および Asian Citrus Holdings Limited の2019年度アニュアルレポートを対象として—」『会計』第203巻第5号、2023年5月、93-106頁（単著）

「国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業による公正価値測定の調査（5）—Woodbois Limited（旧 Obtala、アフリカ林業投資企業）の2010年度～2019年度アニュアルレポートを対象に—」『経営学（東京経大会誌）』第320号、故成川正晃教授追悼号、2023年12月、37-60頁（単著）

2 学会司会

特別委員会報告司会（日本会計研究学会第82回全国大会、大阪公立大学主催 ZOOM 開催、9月1日）、委員長：大日方隆（東京大学）、論題：「会計規制および会計基準の事前評価と事後評価に関する研究」（最終報告）

課題研究委員会報告司会（中小企業会計学会第11回全国大会、専修大学10号館3階10031教室）、委員長：越智信仁（関東学院大学）、論題：「中小企業財務報告の透明性に向けた多面的研究」（最終報告）

スタディグループ報告司会（日本会計史学会第42回大会、大阪公立大学主催 ZOOM 開催、11月18日）、研究代表者：矢野沙織（西日本短期大学）、論題：「簿記会計書の歴史に見る会計構造観の展開」（中間報告）

3 講演、外部資金獲得状況等

招待講演論題：「世界の農林漁業企業と会計制度について」（九州農業経営研究会、くまもと県民交流館パレア9階会議室1、6月16日）

外部資金獲得：令和3（2021）年度～令和6（2024）年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号21K01797、課題名「生物資産会計および自然資本会計を手掛かりとする会計全体枠組みの再構築」

比佐 章一（ヒサ ショウイチ）

1 論文

比佐章一・比佐優子「成人の死亡率が人口成長と経済成長、経済格差に与える影響」『経済貿易研究 研究所年報』第49号、61-78頁、神奈川大学経済貿易研究所

比佐章一・比佐優子「マルサスの罠におけるビック・プッシュと公衆衛生政策」『商経論叢』

兵頭 昌（ヒョウドウ マサシ）

1 学術論文

M. Hyodo, T. Nishiyama, T. Pavlenko “A Behrens-Fisher problem for general factor models in high dimensions”, *Journal of Multivariate Analysis*, Vol. 195, 105162, 2023 【査読あり】

2 学会発表

Takahiro Nishiyama, Masashi Hyodo “On a general linear hypothesis testing problem for latent factor models in high dimensions”, International Symposium on Recent Advances in Theories and Methodologies for Large Complex Data, 2023年12月7日～12月9日（筑波大学）

兵頭昌・西山貴弘・渡邊弘己・中川智之・田畑耕治 「Tests for the equality of covariance matrices under a low dimensional factor structure」、日本計算機統計学会第37回シンポジウム、2023年11月10日～11月12日（フェニックス・シーガイア・リゾート、宮崎県）

兵頭昌・西山貴弘・中川智之・田畑耕治・渡邊弘己 「高次元枠組みにおける分散共分散行列の同等性検定」、2023年度統計関連学会連合大会、2022年9月3日～9月7日（京都大学）

Takahiro Nishiyama, Masashi Hyodo, “Linear hypothesis testing on mean vectors for factor model in high-dimensional settings”, International Conference on Econometrics and Statistics, 2023年8月1日～8月3日（Waseda University, Tokyo, Japan）

3 研究助成

「標本分布の歪みに対処した新たな高次元統計解析の開発」日本学術振興会：2020-2024年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）（統計科学関連）（研究代表者）

松村 敏（マツムラ サトシ）

1 論文

「明治後期における加賀横山男爵家の鉦山経営と家政—鉦山華族横山家の研究（2）—」『商経論叢』第59巻第1号、2023年10月、1-116頁

2 その他

『新修小松市史』通史編Ⅱ、石川県小松市、2023年3月、第4編第2章第1節第1項、同第2節第1項、同第3章第2節第1項、同第3節、同第6節

三島 齊紀 (ミシマ ムネノリ)

1 学会報告

「F. ゴープル著『第三勢力—マズローの心理学』に関する留意点について」日本応用心理学会第89回大会 (亜細亜大学)、2023年8月

2 その他

「F. ゴープル著『第三勢力—マズローの心理学』に関する留意点について」(単著)『日本応用心理学会 第89回大会 発表論文集』、日本応用心理学会、2023年8月、79頁

横川 和穂 (ヨコガワ カズホ)

1 著書 (共著)

Kazuho Yokogawa “Small Government in the State Capitalism?: The Role of Public Finance in Russia”, in Kumiko Haba, Alfred Canavero and Satoshi Mizobata eds., *100 Years of World Wars and Post-War Regional Collaboration: How to Create ‘New World Order’?*, Springer (January 2023)

2 学会報告

“Arctic Policy and Fiscal Problem in Russia: the Case of the Sakha Republic”, ISAR-7 (7th International Symposium on Arctic Research), S15: Redefining the well-being of Arctic communities in the context of global environmental and societal change, March 8, 2023, National Institute of Polar Research, Japan

“Social Capital and Local Community in Russia and Japan”, Society for the Advancement of Socio-Economics (SASE) Rio de Janeiro 2023, Roundtable: Social Capital in Times of Turbulence: Evidence from Russia and Japan (Virtual session), July 13, 2023. (オンライン参加)

「国家主導ロシア経済における財政の役割」経済理論学会第71回大会、第14分科会 (問題別分科会: 比較経済体制研究1) 「国家主導資本主義をめぐる理論と現状: ロシアと中国を対象として」、2023年11月5日、於: 東北学院大学

3 研究会報告

「『国家主導資本主義の経済学』再考: 国家主導ロシア経済における財政の役割」比較経済体制研究会第42回年次研究大会、於: 神戸市外国語大学、2023年8月28日

4 その他 (学会開催)

比較経済体制学会第63回全国大会大会組織委員長、会場: 神奈川大学みなとみらいキャンパス (ハイブリッド形式)、兼プログラム委員「共通論題: 激動する地政学的環境下の世界経済体制」、2023年6月3日-4日